

麻布大学同窓会 北海道支部 総会&懇親会 報告
表題「親子で参加しました！」

去る平成22年4月17日(日)の夕刻より札幌市内のホテルの宴会場にて麻布大学同窓会北海道支部総会が開催され参加致しました。関東では季節はずれの積雪を観測したらしいですが札幌市内は雪も見当たらず、やや肌寒い気候でした。

今回が私にとっては初参加となり緊張もありましたが父親も参加していたせいか、リラックスして先輩の皆様と歓談でき楽しい時間を過ごすことが出来ました。

札幌市内には他の獣医大学の卒業された先生方が多く、麻布大学の近況や昔話をする事などほとんどないのですが「俺の時の〇〇実習は〇〇先生でさあ〜。」や「〇号館のトイレは幽霊が出るよねえ〜」やら「あの弁当屋まだあるの? ダイクマは? 日清楼は? 食堂のおばちゃん元気かなあ〜」などなど皆さん気になるようでした。大学側からは、解剖学研究室の有嶋和義教授にお越しいただき現在の麻布大学の学内の状況(学生の男女割合や新しい建設物、教職員の移動など)を聞き、当時の面影が薄れていく大学の風景を思うと少し切なく感じました。しかし、時代のニーズに応じていけるだけの力を持つ麻布大学は誇りであると同時に、今後も時代をリードしていける人材育成や環境づくりに尽力していただきたいと考えます。



北海道にとっては有珠山の噴火から今年で10年の節目の年になり当時、迅速に現地まで救出救済活動に参加された先生方に貴重なお話を聞いたのも収穫でした。

懇親会の最後には恒例?の万歳三唱にて会を締めくくり次回の再会を誓い今後もぜひ参加して先輩方や同僚との交流の場を大切にしていきたいと思いました。

江藤 正之 (H13年卒)

